東京都が目指す「グリーン水素」の普及

東京都は、

再生可能エネルギーの電気と水から作った水素、いわゆる「グリーン水素」を 脱炭素社会実現の柱と位置付け、その普及 に向けて様々な取組を 行っています。

水素には色がある(クリーン水素とは)・

水素そのものは無色透明ですが、製造過程の違いにより、色で表現されています。

グリーン水素(再エネ由来水素)

再エネ由来の電力を利用して水を電気分解して生成される水素

ブルー水素

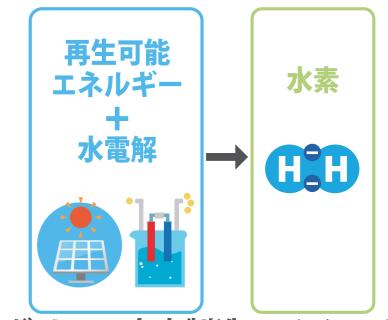
化石燃料を原料とするが、製造過程で発生するCO₂を回収・貯留することで大気中にCO₂を放出しない水素

グレー水素

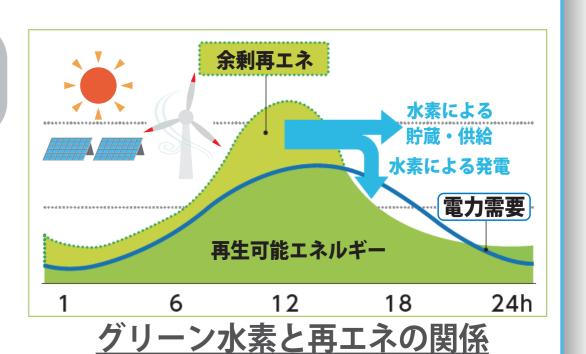
天然ガスや石油などの化石燃料を原料として製造される水素

▶水素は使用時にCO2を出しませんが、グリーン水素については製造時もCO2を 出さないという特徴があります。

▶再エネを水素に変換して貯蔵、必要なときに利用するなど、<u>グリーン水素は再エネ</u>の大量導入を支えます。



グリーン水素製造のイメージ



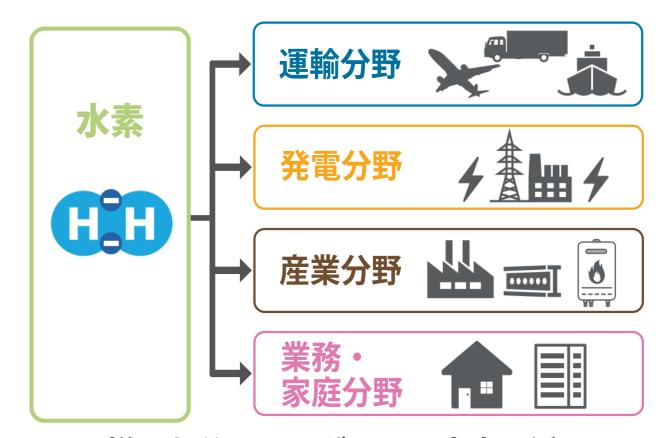
グリーン水素の活用

2050年には、あらゆる分野で<u>グリーン水素が本格活用</u>され、 様々な分野の脱炭素化に貢献することが期待されています。

▶**運輸分野・・・**輸送機器の燃料として、燃料電池自動車・バスのほか、 大型の船や航空機などでも活用

▶ **発電分野・・・**燃料電池(エネファーム等)が既に商用化されている他、 直接水素を燃焼する「水素発電」に向けた技術開発

▶**産業分野** ▶**業務・家庭分野・・・**産業分野における高温の熱源、 業務・家庭分野の熱需要としての活用



様々な分野でのグリーン水素の活用

グリーン水素普及に向けた東京都の取組

他自治体との連携

▶都内イベントにおいて、福島県産 グリーン水素を活用

▶都有施設に燃料電池を設置し、山 梨県産グリーン水素を活用





山梨県産グリーン水素活用のイメージ

東京グリーン水素 ラウンドテーブルの開催

▶グリーン水素等の普及について、 企業や団体等からの事例共有や 意見交換等を実施

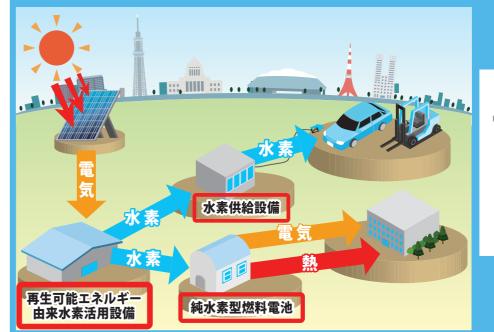


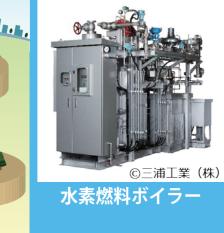
ラウンドテーブルの様子

グリーン水素の導入事例を積み上げ、 本格活用に向けた基盤づくりを行っています。

水素製造設備の導入促進

▶グリーン水素関連設備の設置に必要な 経費の補助





補助対象の機器

